

彩ゆたかな春の花がそれぞれ見頃を迎えています！

暖かな春を迎え、みちのく公園は春の花が彩り豊かに咲き誇っています。

南地区「大花壇」では**63品種10万本のチューリップ**やパンジー・ビオラ、ピンクが映える**2万株のシバザクラ**が、「だんだん畑」では黄色が鮮やかな**22万本のナノハナ**。そして、「湖畔のひろば」ではヤマザクラが間もなく見頃を迎えます。北地区「自然共生園」では**オキナグサ**が見頃、里山地区「りゅうきんかの谷」では**リュウキンカ**が群生し見頃を迎えています。様々な種類の花が公園内を彩っています。みちのく公園で春をおもいきり感じてください。



南地区「大花壇」
チューリップ・パンジー・ビオラ ※現在3分咲き程度



南地区「だんだん畑」
ナノハナ ※現在5分咲き程度



北地区「自然共生園」
オキナグサ ※現在見頃



里山地区「りゅうきんかの谷」
リュウキンカ ※現在見頃

令和3年4月12日撮影

資料配信先:宮城県政記者クラブ・仙台市政記者クラブ・東北電力記者クラブ・仙南記者クラブ

問合せ

国営みちのく杜の湖畔公園 みちのく公園管理センター
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9
Tel 0224-84-5991(代) Fax 0224-84-5992

植物担当 業務一課長 渡辺 真人(内線652) 広報担当 調査役 菅原 利之(内線673)

南地区 おすすめ「お花MAP」

2021年
4月15日(木)



みちのく公園HP「花ギャラリー」にて随時更新中
<https://michinoku-park.info/flowers/>



北地区自然共生園 おすすめ「花MAP」

2021年4月15日(木)



展望野草園



オキナグサ

かつては川崎町のあぜ道などにたくさん生えていましたが、最近はほとんど見られなくなり、絶滅危惧種に指定されています。ボランティアなどの手により、平成22年から毎年タネを蒔いて、殖やしてきました。

サクラソウの小径



サクラソウ

湿った原野や明るい樹林に群生し、4月中旬～5月上旬に直径2～3cmの濃いピンクの花を咲かせます。花粉を運ぶハナバチが少ないため、ボランティアの手で授粉を行い、少しずつ苗を育てて殖やしてきました。

※北地区自然共生園は、4/25(日)～5/4(火・祝)まで、野外コンサート開催のためご利用いただけません。

里山地区 おすすめ「花MAP」

2021年4月12日(月)



里山歩きの注意

- スニーカーやトレッキングシューズ、長靴などを履きましょう。サンダルやハイヒールは危険です。
- 虫に刺されないよう、長袖、長ズボンを着て、肌を出さないようにしましょう。
- ハチやヘビに注意しましょう。
- 園路は勾配があって、舗装されていません。休み休み散策しましょう。

りゅうきんかの谷



リュウキンカ

・リュウキンカ

リュウキンカは、日本やアジアなどに自生し、水辺や湿地に生息するという特徴を持つ多年草です。花は5月から7月にかけて先、黄色いかわいらしい小花をつける。

花言葉 「必ず来る幸福」「富」

キンポウゲ科・リュウキンカ属
原産地 日本、中国、朝鮮半島

